

次号予告

特集 データサイエンス教育の潮流 その2

日本のデータサイエンスの過去・現在・未来とOR—データサイエンスを支える最適化という概念—
..... 上田雅夫 (横浜市立大学)
筑波大学における全学必修のデータサイエンス教育
..... 和田耕一・佐久間淳・平田祥人・福地一斗・青砥隆仁・五十嵐康彦・今倉 暁・
Vasilache Simona Mirela・海野広志・遠藤結城・岡 瑞起・川口一画・國廣 昇・
滝沢穂高・津川 翔・三末和男・三谷 純 (筑波大学システム情報系情報工学域)
兵庫県立大学社会情報科学部における実践的データサイエンス教育の紹介
..... 加藤直樹・笹嶋宗彦・藤江哲也・川嶋宏彰 (兵庫県立大学社会情報科学部)
東京理科大学のデータサイエンス教育—データサイエンスセンターの取り組みを中心として—
..... 矢部 博 (東京理科大学理学部第一部応用数学科)
データドリブン経営を目指す企業に必要なデータサイエンス
..... 中林紀彦 (ヤマトホールディングス株式会社)
データサイエンス教育の題材としての「データ解析コンペティション」
..... 生田目崇 (中央大学理工学部経営システム工学科)

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●今月号の意見交換会の中では、数学教育の重要性が指摘されていました。「数学なんて役に立たない、微分なんて使わない」という意見は時々聞かれますが、私たちの生活を便利にしてくれる人工知能 (深層学習) の中では、微分が実際に大活躍していますね。
●授業科目としての数学はあまり楽しくはないかもしれませんが、そこで基礎知識を十分に学んでおかないと、数学を楽しむ (理解して活用する) ことはできません。高度な技能を習得するためには、必ずどこかで苦しい修業を乗り越える必要があるのです。
●データサイエンスでは数学・実装・ビジネスの技能が必要とされます。その中でも特に数学については、学生時代

に鍛えておかないと後から上達させることは難しくなります。一方で数学を究めていくと、他者の細かな非論理的言動を許容できない、少し嫌な性格になってしまうという副作用はあるような気がします (自戒の念も込めて)。

●他の科目はどうでしょう。正確で明確で簡潔な文章を書くために国語は超重要です。国際化の時代には英語も重要ですが、深層学習に基づく機械翻訳の精度向上は凄まじく、この常識は変わるかもしれません。筆者は理科と社会は苦手だったのですが、理科を勉強しておけば研究の幅が広がったと思いますし、社会を勉強しておけば見識のある立派な大人になれたはず...と思っています。

(高野祐一)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 繁野 麻衣子 (筑波大学)

特集担当編集委員 蓮池 隆 (早稲田大学)

委員 朝日 弓未 (東京理科大学), 伊豆永 洋一 (神奈川大学), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 井家 敦 (神奈川工科大学), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校), 大竹 恒平 (東海大学), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 猿渡 康文 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 生田目 崇 (中央大学), 野々部 宏司 (法政大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 山本 零 (慶應義塾大学), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和2年10月号 第65巻 第10号 通巻718号

代表者 田口 東

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.orjs.or.jp/>

編集人 繁野 麻衣子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。